

エコボックス <NETIS登録>

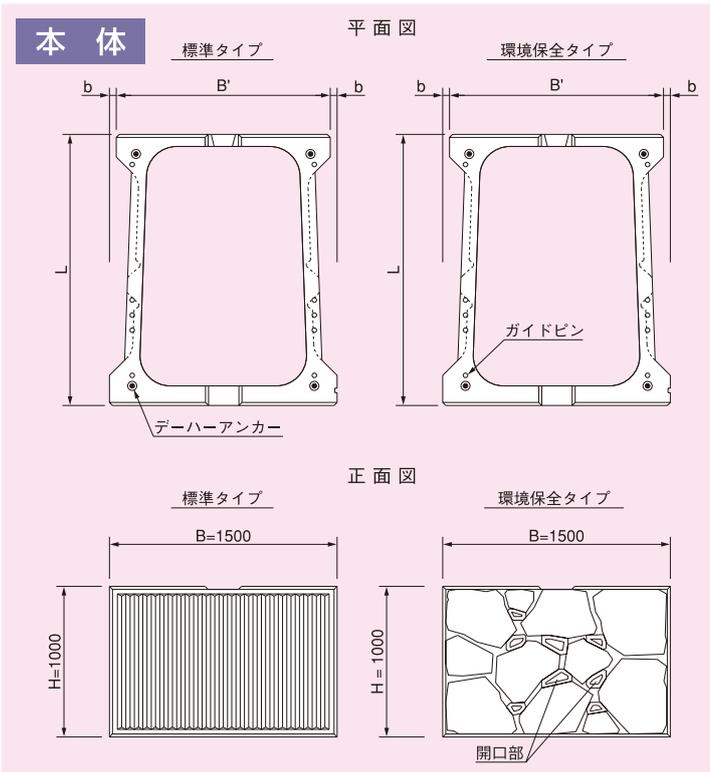
実績



特長

- 「道路土工—擁壁工指針」に準拠した大型積みブロックで、安定計算により控え厚を決定し、最適な断面で構築できます。
- 4種類の積み型により、本製品のみで用途別に使用することができます。
 - ・もたれ式階段積み擁壁タイプ
 - ・もたれ式積み擁壁タイプ
 - ・重力式直積み擁壁タイプ
 - ・RE工法(逆台形状直積み擁壁タイプ)
- 建設副産物である現地発生土を中詰材として利用できます。そのため、処理費用のコスト削減、環境への影響を低減することができます。
- 箱型の部材を積上げ、隣接する製品間に胴込コンクリート及び縦貫鉄筋を設けることにより、強固に一体化された擁壁となります。
- 環境保全型タイプは、植生護岸としての機能を持たせることができ、また礫等の中詰材を充填することで浄化作用も期待できます。
- RE工法は、特に道路拡幅に優れており、底板巾が小さいため地山の掘削による現道への影響を最小限に抑えることができます。

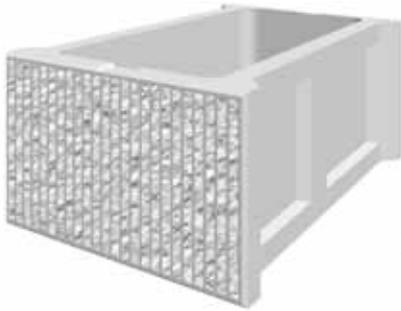
寸法図



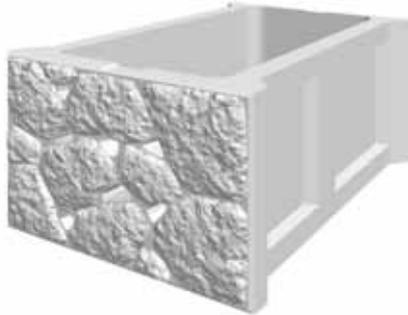
寸法表 (mm)

呼び名	B	H	L	B'	b	参考重量(kg)	
						標準	環境保全
1000型	1500	1000	1000	1450	25	1230	1300
1400型			1400	1430	35	1345	1415
1800型			1800	1410	45	1490	1560
2200型			2200	1390	55	1610	1680
2600型			2600	1370	65	1730	1810
3000型			3000	1350	75	2000	2070

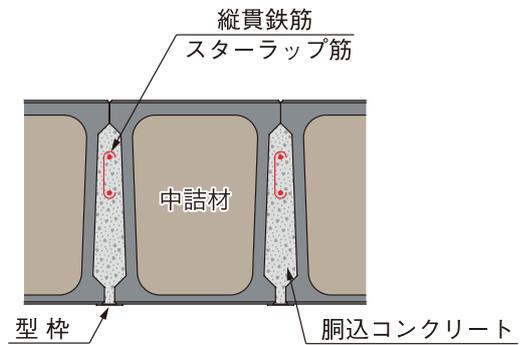
標準タイプ



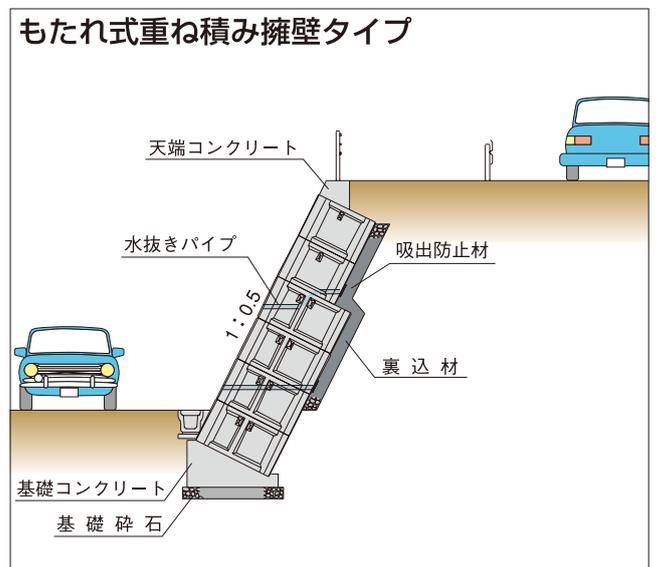
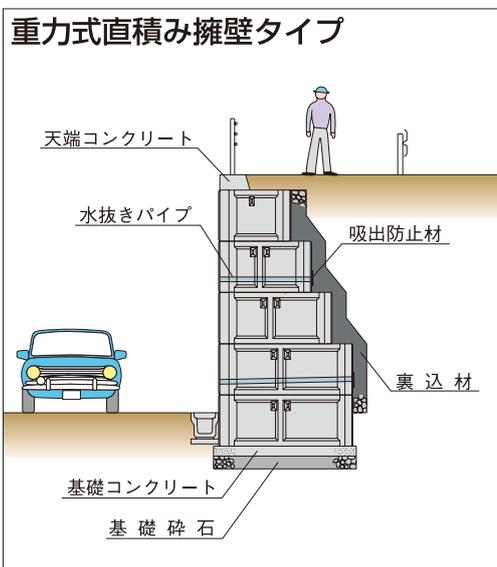
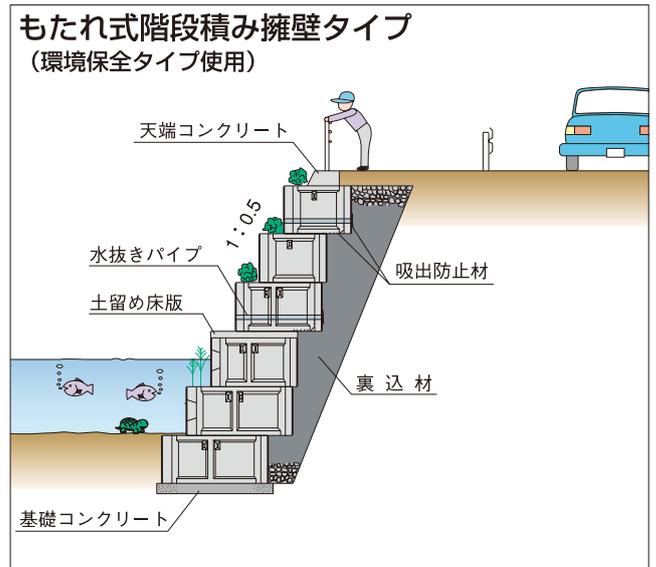
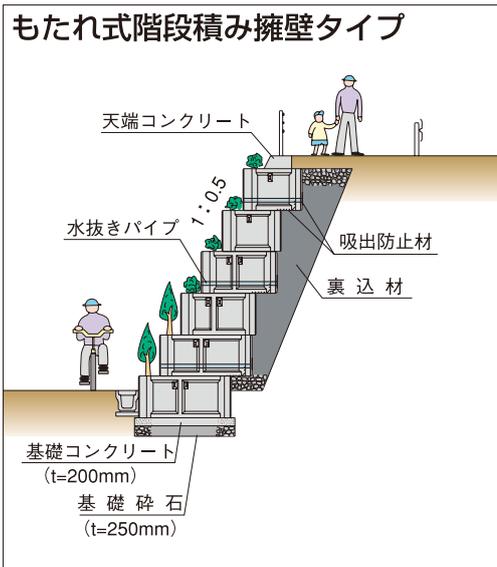
環境保全タイプ



胴辺部詳細図



標準構造図



エコボックス (RE工法)

・ 施工事例 ①

実績



・ 施工事例 ②



大型積ブロック

L型擁壁

組立擁壁

緑化擁壁

井桁擁壁

法
枠

残存型枠

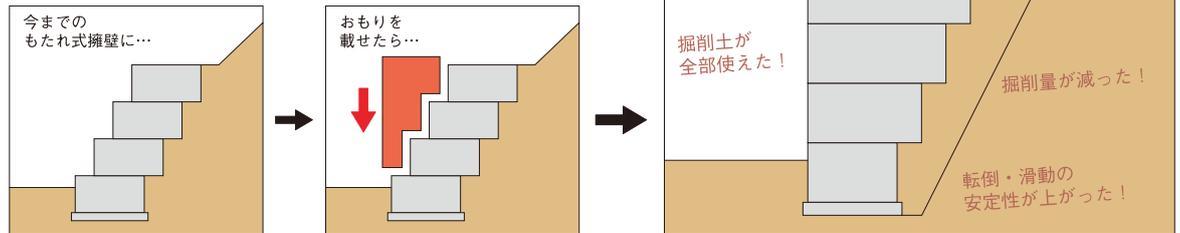
補強土壁

特 長

山間部などの急傾斜地に最適な工法です！

RE工法とは—

エコボックスの前面がほぼ垂直になるように積上げ、且つ下段のブロックに比べ上段になるほど大きいサイズの製品を使用した擁壁構造です。



1. 経済的

下段には小型サイズのエコボックスを使用し、上段に行くほど大型サイズを積上げるため、底版巾が小さくなり地山の掘削が最小となります。よって、地山を大きくカットして擁壁を構築してから再度埋戻しをするといった作業がほとんどなくなり、大変経済的です。また、現地発生土を擁壁内に充填するため、土砂の搬入、搬出が最小限となります。

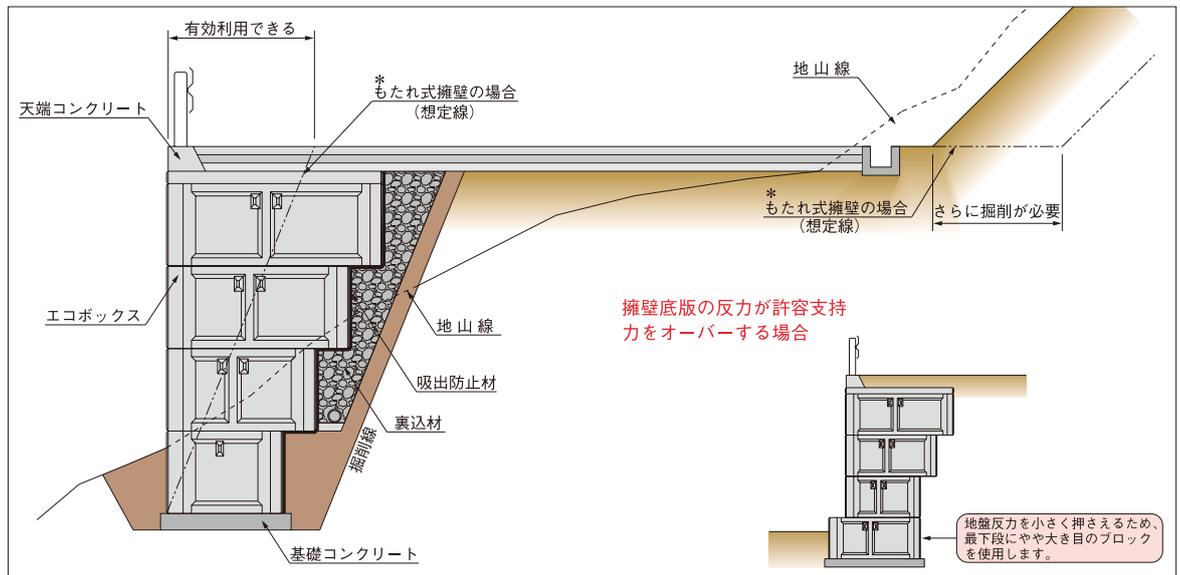
2. 安全

地山の掘削が最小となるため、地山をかき乱すことなくカット法面下での危険作業が大幅に減少します。「道路土工指針」及び「国土交通省制定土木構造物標準設計」に準拠した設計計算となっており、力の合力もミドルサード内に入っておりますので、安心してご使用いただけます。

3. 早い施工

地山の掘削が最小となるため、地山のカットが最小限ですみ、大幅な工期短縮が図れます。またプレキャスト製品を積んでいくだけの簡単な作業のため、熟練工も必要なく、1日50㎡以上の早い施工が可能です。

標準構造図



参考歩掛表

エコボックス (10㎡当り)

名 称	規 格	数 量	単 位	備 考
エコボックス		6.67	個	
土木一般世話役		0.20	人	
ブロック工		0.80	人	
特殊作業員		0.40	人	
普通作業員		0.40	人	
ラフテレーンクレーン	25 t 吊	0.40	日	
諸雑費		4.00	%	

諸雑費は、水抜パイプの材料費であり、労務費の合計に乗じた金額を計上して下さい。
中詰工は別途計上して下さい。

「工事歩掛要覧」より

数量表

呼び名	中詰材 (m³/個)	胴込コンクリート (m³/個)	胴込型枠 (m²/個)
1000型	0.814	0.163	0.050
1400型	1.233	0.297	0.070
1800型	1.643	0.429	0.090
2200型	2.045	0.578	0.110
2600型	2.439	0.736	0.130
3000型	2.804	0.884	0.150